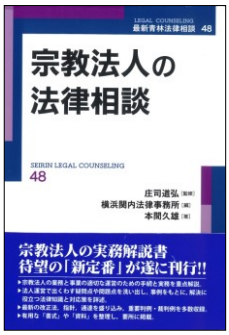
**新刊書**　　発行日　令和5年8月10日　　青林書院

# 宗教法人の法律相談




## （最新青林法律相談 第48巻）

庄司道弘監修　横浜関内法律事務所編　本間久雄著

Ａ5判・362頁・定価（本体価格4,700円＋税）/978-4-417-01862-9

- ●宗教法人の実務を網羅解説した待望の「新定番」が遂に刊行!!
- ●宗教法人の業務と事業の適切な運営のための手続と実務を重点解説。
- ●法人運営で出くわす疑問点や問題点を洗い出し，事例をもとに，解決に役立つ法律知識と対応策を詳述。
- ●最新の法改正，指針，通達に目配りし，重要判例・裁判例を多数収録。
- ●トラブル対応の章では，宗教活動が違法となる場合，宗教法人の使用者責任，霊感商法にまつる法改正・新法制定，所轄庁の質問権・報告徴収権，反社対応などを取り上げて詳しく解説。
- ●有用な「書式」や「資料」を整理し，要所に掲載する。

本書の内容

第１章◆宗教法人の概要
第２章◆宗教法人の設立・運営
第３章◆宗教法人の事業
第４章◆宗教法人の税金
第５章◆宗教法人の財産管理
第６章◆宗教法人のトラブル対応
第７章◆宗教法人の離脱・合併・解散

監修者・編者・著者紹介

監修者
庄司　道弘（弁護士）

編者
横浜関内法律事務所

著者
本間　久雄（弁護士）

監修に際して

私が寺院の法律問題に関わったのは，昭和55年（1980年）からであり，以来40年以上寺院関係の法律実務に従事している。その間様々な問題に逢着し，一つ一つ，宗教法人法はもとより，墓地，埋葬等に関する法律（墓葬法），借地借家法，或いはその改正歴に当たりながら，判例の変遷にも対応しつつ解決していった。この宗教法人を巡る分野にはなかなか一冊で概要が分かる書籍，判例集が少ないので苦労をしてきた。更に，昨今，霊感商法等，特定の宗教法人に関する特異な事件が発生し，新たな規制も生じている。

こうした中で，この度当事務所（横浜関内法律事務所）で，宗教法人関係に特に従事してきた本間久雄弁護士がこうした課題について，コンパクトにまとめた書籍の記述をしてくれたので，読者の皆様が実務を取り扱う上で，参考になれば嬉しく思う。

2023年（令和５年）７月　庄司道弘

**新刊書**　　発行日　令和5年8月10日

青林書院

# 離婚調停・離婚訴訟

## 【四訂版】

### リーガル・プログレッシブ・シリーズ第7巻

秋武憲一・岡　健太郎　編著

Ａ5 判・324 頁・定価（本体価格 4,200 円＋税）/978-4-417-01860-5

ますます充実!　婚紛争に関する実務と理論を理解するための決定版!!

- ●家事調停事件や人事訴訟事件を担当した裁判実務家が執筆。
- ●離婚調停及び訴訟の主要な論点について,実務の様々な工夫や試み,具体的な運用方法とその理論的な根拠を詳解。
- ●迅速適正なより良い調停と訴訟の在り方を明示。

目次

第１章　離婚調停

Ⅰ　家事調停前置主義／Ⅱ　家事調停の実際／Ⅲ　人事訴訟法施行後の家事調停の在り方

Ⅳ　調停前置主義の果たしている機能と効果

第２章　離婚訴訟の審理

Ⅰ　総論／Ⅱ　管轄と当事者／Ⅲ　事前準備と第１回口頭弁論期日／Ⅳ　争点及び証拠の整理と集中証拠調べ／Ⅴ　裁判の終了／Ⅵ　参与員の立ち会う審理／Ⅶ　保全処分（仮差押え，仮処分等）

第３章　離婚訴訟における主要な論点

Ⅰ　離婚原因／Ⅱ　有責配偶者からの離婚請求／Ⅲ　子の親権者の指定／Ⅳ　子の監護に関する処分―養育費，面会交流／Ⅴ　財産分与／Ⅵ　年金分割

第４章　渉外離婚事件

Ⅰ　渉外離婚事件の特徴／Ⅱ　送達及び外国離婚判決の承認／Ⅲ　国際裁判管轄権に関する問題／Ⅳ　その他の渉外離婚事件における国際民事手続法の問題／Ⅴ　国際私法に関する問題／Ⅵ　渉外離婚事件の審理／Ⅶ　準拠法として適用される主な外国離婚法制の概要　資料：書式例等

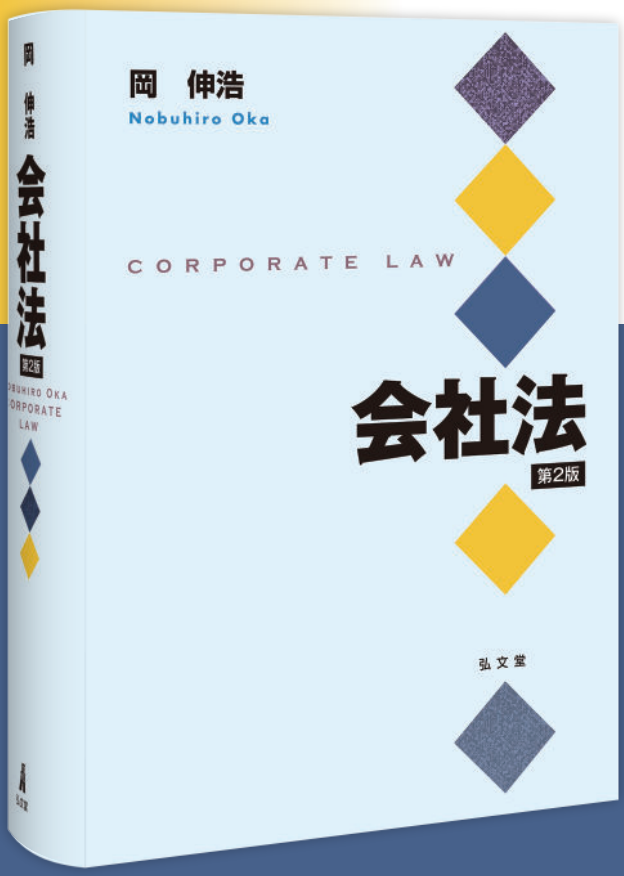
新刊のご案内

# 会社法の新しい学び方！

実務に活きる会社法の
深く正しい理解を得るために！

2023年
9月4日
発売

A5判上製 1136ページ
定価（本体5,200円＋税）
ISBN 978-4-335-35854-8




## 会社法 第2版

岡 伸浩 /著
弁護士（岡綜合法律事務所代表）
慶應義塾大学大学院法務研究科教授
2023年度第一東京弁護士会副会長

会社法の習得は、条文に始まり条文に終わるといっても過言ではありません。
主役は条文、そして判例。条文や制度の趣旨を丁寧に解説し、重要判例の内容もコンパクトに整理。
この１冊で会社法を深く正しく理解できる集約型テキスト、重要判例・トピックスの追加、さらに明快さを追求した最新版！

### 本書 10 の特長

1. **72 講構成**——1 講読み切りでテーマごとに理解が進む
2. **条文を重視**——条文の文言に沿ってわかりやすく解説
3. **定義を明確に**——概念の定義をしっかり示す
4. **趣旨を重視**——条文・制度の趣旨を明確に記述
5. **重要論点**——問題の所在を明記し、丁寧に考察
6. **重要判例**——事案・争点・判旨を思考過程もわかるように整理
7. **重要用語・トピックス**——生きた会社法の姿を伝える
8. **クロス・リファランス**——相互検索で横断的に学べる
9. **難解な箇所を重点的に**——誰もがわかりづらいところを解きほぐす
10. **実務家視点**——企業法務の現場で得た視点を記述に活かす

弘文堂　〒101-0062　東京都千代田区神田駿河台1-7　TEL 03-3294-4801　FAX 03-3294-7034　https://www.koubundou.co.jp/

チラシ「実践・生命保険の要件事実」.pdf　2023/09/25　17:21:00

尾関 博之（弁護士） 著

# 〈実践〉生命保険の要件事実

A5変・並カ・308頁　3,960円（税込）　ISBN978-4-7972-6812-6　C3332

今まで、生命保険や傷害疾病定額保険に関する書は数多くても、訴訟の実践を見越して書かれたものは少なく、まして、保険会社を相手方とする実用書は少ない中で、本書は、生命保険契約及び傷害疾病定額保険契約の典型的な紛争類型ごとに、各当事者が主張すべき要件事実を分かり易く整理・解説したものであり、また、実際の訴訟をイメージし、かつ、保険会社を相手方とする場面も想定し、他の法律との交錯が理解しづらい保険法等について、関係法律を横断的に説明し，訴訟の実践においてのヒントを満載した実務書として、保険会社を相手方とする訴訟の代理人となる弁護士諸氏におかれましても、実務に役立つ必須の参考書

【目　次】

◆第１部　生命保険◆
◆第１章　保険給付請求
第１節　請求権者及び請求権割合
第２節　生命保険契約に基づく保険給付請求
◆第２章　保険契約上の地位確認
第１節　保険契約者の確定
第２節　無催告失効条項の拘束力
第３節　復　活
◆第３章　団体信用生命保険に関する問題
◆第４章　原状回復
第１節　総　論
第２節　原状回復請求
第３節　原状回復的損害賠償
第４節　クーリング・オフ
◆第５章　履行利益の確保（履行利益的損害賠償請求）
◆第６章　解　除
第１節　総　論
第２節　解約返戻金支払請求
第３節　未経過期間保険料返還請求

◆第２部　傷害疾病定額保険◆
◆第１章　傷害定額保険
第１節　前提となる情報
第２節　保険給付請求
◆第２章　疾病定額保険
第１節　保険給付請求

刊行：2023年7月30日

〒113-0033　東京都文京区本郷6-2-9-102　東大正門前
TEL：03(3818)1019　FAX：03(3811)3580　E-mail：order@shinzansha.co.jp
信山社
http://www.shinzansha.co.jp

チラシ「子どもの意見表明権の保障」.pdf　2023/09/25　17:21:45

原田 綾子（名古屋大学大学院法学研究科教授）著

# 子どもの意見表明権の保障

## －家事司法システムにおける子どもの権利－

A5変・上カ・384頁　8,800円（税込）　ISBN978-4-7972-8265-8　C3332

本書は、子どものための正義（ジャスティス）の実現のために、子どもはいかに取り扱われるべきかを、裁判手続中の代理人の役割やその前の相談プロセス、法的決定後の支援など、オーストラリア家事司法システムの紹介を含めて、広い視野から考察しており、子どもと協働して子どもの最善の利益を実現する為の参考書です。

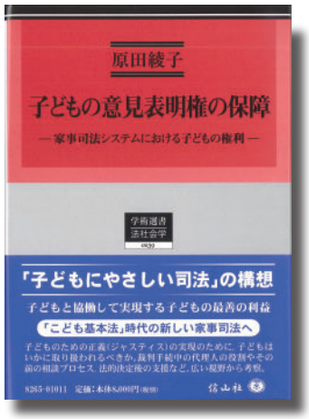
【目　次】


◆第１章　子どもの意見表明権と家事司法システム
　第１節　子どもの意見表明権とはなにか
　第２節　子どもの意見表明のベネフィットとリスク
　第３節　家事事件手続法の子どもの意見表明に関わる規律
　第４節　子どもの手続代理人の選任に関する規律
　第５節　子どもの手続代理人の役割
　第６節　子どもの手続代理人が代理するのは子どもの意思か子どもの利益か

◆第２章　子どもの手続代理人実務における子どもの意見表明権の中心性
　　――インタビュー調査を通して
　第１節　インタビュー調査の目的・方法
　第２節　子どもの手続代理人と裁判所との連携・調整
　第３節　子の父母及びその代理人との調整
　第４節　手続代理人の役割についての子どもの認識
　第５節　子どもとのコミュニケーション
　第６節　子どもの気持ちや意向を伝える
　第７節　子どもの意見表明のインパクト
　第８節　子どもへのフィードバック・手続終結後の関わり
　第９節　子ども本人申立てによる親権停止事件における手続代理人の活動
　第10節　手続代理人が考える手続代理人の役割とその意義
　第11節　小括――手続代理人実務における子どもの意思の重視・意見表明権保障の中心性

◆第３章　オーストラリア家事司法システムにおける子どもの独立の弁護士
　　――子どもの最善の利益中心パラダイムにおける子どもの意見表明権の位相
　第１節　本章のねらい
　第２節　オーストラリア連邦家族法と子どもの独立の弁護士（ICL）の制度
　第３節　子どもの独立の弁護士（ICL）が担う役割
　第４節　子どもの参加の保障にむけたICLの改革
　第５節　日本の子どもの手続代理人制度への示唆

◆第４章　子どもにやさしい家事司法システムをめざす
　　――子どもとの協働を通して実現する子どもの最善の利益
　第１節　子どもの「発達しつつある能力」――子どもの能力の動態的把握
　第２節　家事司法システムにおける子どもの「発達しつつある能力」への応答
　第３節　子どもの権利を尊重する家事司法システムの構想


刊行：2023年7月30日

〒113-0033　東京都文京区本郷6-2-9-102　東大正門前
TEL:03(3818)1019　FAX:03(3811)3580　E-mail:order@shinzansha.co.jp
信山社
http://www.shinzansha.co.jp

商事法務　新刊のご案内

2023年9月発売

# 中小企業の事業再生等に関するガイドラインのすべて

小林 信明・中井 康之　編

A5判並製／384頁／4,180円（税込）

## 中小版事業再生等GL研究会委員を中心に執筆した「公式」実務解説。

2022年3月に運用が開始された『中小企業の事業再生等に関するガイドライン』について、策定当初から携わった実務家が網羅的に解説。運用に当たっての問題点を探った座談会と実際に成立した再生型・廃業型の事例も収録。事業再生、廃業支援に関与する金融機関、実務家必携の1冊。

＜主要目次＞


Chapter0　運用と実務課題

Chapter1　ガイドラインの概要

Chapter2　ガイドライン第二部（基本的考え方）

Chapter3　ガイドライン第三部（中小企業版私的整理手続）

▸Section1　手続選択

▸Section2　再生型私的整理手続

▸Section3　廃業型私的整理手続

▸Section4　税務上の取扱い

▸Section5　各当事者からの解説

▸Section6　事例紹介

Chapter4　ガイドラインの補助政策等


＜編者・執筆者＞


編者

小林信明（長島・大野・常松法律事務所　弁護士）

中井康之（堂島法律事務所　弁護士）

執筆者

浅沼雅人（ときわ法律事務所　弁護士）

小田切豪（三宅・今井・池田法律事務所　弁護士）

大森斉貴（税理士法人レクス会計事務所　公認会計士・税理士）

加藤正敏（日本商工会議所 中小企業振興部長）

加藤寛史（阿部・井窪・片山法律事務所　弁護士）

北野知広（弁護士法人大江橋法律事務所　弁護士）

小林信明（長島・大野・常松法律事務所　弁護士）

三枝知央（内藤・さきくさ法律事務所　弁護士）

佐々木浩（日本商工会議所 中小企業振興部主任調査役）

須賀一也（須賀公認会計士事務所　公認会計士・税理士）

髙井章光（髙井総合法律事務所　弁護士）

髙木大地（弁護士法人関西法律特許事務所　弁護士）

武井陽太郎（三宅・今井・池田法律事務所　弁護士）

富永浩明（富永浩明法律事務所　弁護士）

中井康之（堂島法律事務所　弁護士）

長谷川卓（三井住友銀行 総務部法務室長）

蓑毛良和（三宅・今井・池田法律事務所　弁護士）

宮原一東（桜通り法律事務所　弁護士）

山形康郎（弁護士法人関西法律特許事務所　弁護士）

山崎良太（森・濱田松本法律事務所　弁護士）

山名萌木（三井住友銀行 総務部法務室）

横田直忠（阿部・井窪・片山法律事務所　弁護士）



株式会社　商事法務

東京都中央区日本橋3-6-2
https://www.shojihomu.co.jp/

TEL：03-6262-6756
FAX：03-6262-6804

# 書籍のご案内

（株）民事法研究会

| 発刊日 | 書籍名 |
|---|---|
| 2023年<br>9月13日刊 | **書式 労働事件の実務〔第二版〕**<br>**――本案訴訟・仮処分・労働審判・あっせん手続まで――** |

A5判・540頁・労働紛争実務研究会 編

大手百貨店の労働組合によるストライキや市立病院でのパワハラなど労働事件の報道は後を絶たないなか、よりよい労働関係のあり方を願う労働事件専門の弁護士が、労使双方の立場から解説！　手続の選択から解雇、休職、雇止め、賃金等請求、人事・損害賠償ほか不当労働行為の救済手続を取り上げ、近年増えているハラスメント事案や、正規、非正規間の格差などさまざまな事案に対応できるよう配慮！

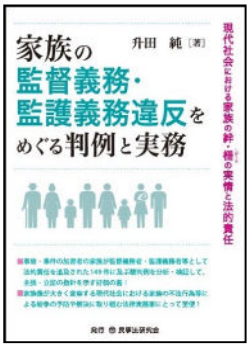
**第1章　労働事件の紛争解決手続とその選択**
第1節　労働紛争の類型／　第2節　労働関係紛争解決システムの概要／　第3節　労働者側で労働事件を担当するにあたっての留意点／　第4節　使用者側で労働事件を担当する場合の対応
**第2章　解　雇**
第1節　普通解雇（能力不足・適格性欠如、勤務態度不良等）／　第2節　整理解雇／　第3節　懲戒解雇／　第4節　内定の取消し／　第5節　試用期間中の解雇と本採用拒否
**第3章　休　職**
**第4章　雇止め**
**第5章　解雇以外の賃金等請求**
第1節　残業代請求／　第2節　退職金請求／　第3節　人事考課と査定／　第4節　降　格／　第5節　不合理な労働条件格差の禁止／　第6節　就業規則の不利益変更、労働協約の不利益変更と賃金
**第6章　人事・損害賠償**
第1節　配　転／　第2節　出　向／　第3節　懲　戒／　第4節　パワーハラスメント／　第5節　セクシュアルハラスメント／　第6節　労働災害による損害賠償／　第7節　労働者派遣／　第8節　プライバシー侵害
**第7章　労働委員会による不当労働行為の救済手続**
第1節　不当労働行為救済制度の趣旨と概要／　第2節　審査手続／　第3節　不服申立手続　／　第4節　使用者に対する制裁／　第5節　和　解
**第8章　その他の個別労働紛争解決制度**
第1節　民事訴訟、労働審判以外の個別紛争解決制度／　第2節　簡易裁判所における民事調停手続／　第3節　労働局（紛争調整委員会）によるあっせん／　第4節　労働委員会等における個別労働紛争に関するあっせん等

| 発刊日 | 書籍名 |
|---|---|
| 2023年<br>8月20日刊 | **ハラスメント対応の実務必携Q&A**<br>**――多様なハラスメントの法規制から紛争解決まで――** |

A5判・353頁・弁護士法人 ロア・ユナイテッド法律事務所 編　編者代表 岩出 誠

フリーランス法でフリーランサーに対するハラスメントの法規制も明示された多様なハラスメントについて、種類ごとに規制内容と裁判例を示し、事業主等が求められる対応と紛争となった場合の解決方法について詳説！　パワハラ、セクハラ、マタハラ・ケアハラからカスハラ、ＳＯＧＩハラ等にも対応！　令和５年７月11日最高裁判決（トランスジェンダートイレ訴訟）を反映！

**第1章　ハラスメント総論**
Ⅰ　ハラスメントの類型発生状況――問題の深刻さ
Ⅱ　ハラスメント対策の必要性
Ⅲ　ハラスメントへの法的規制の概観
**第2章　多様なハラスメントをめぐる法規制の概要と裁判例等の概要**
Ⅰ　職場におけるパワハラ――SOGIハラ、カスハラを含む
Ⅱ　職場におけるセクハラ
Ⅲ　職場におけるマタハラ、ケアハラ
**第3章　ハラスメントに対して法令等で求められる対応**
Ⅰ　ハラスメント防止のための関係者の責務
Ⅱ　ハラスメント防止のために事業主が雇用管理上講ずべき措置等
**第4章　ハラスメントへの紛争の解決方法**
Ⅰ　ハラスメントへの紛争解決援助制度等
Ⅱ　ハラスメント損害賠償請求紛争の解決方法
――職場環境調整を含む




| 発刊日 | 書籍名 |
|---|---|
| 2023年<br>7月23日刊 | **家族の監督義務・監護義務違反をめぐる判例と実務**<br>**――現代社会における家族の絆・柵の実情と法的責任―** |

A5判・509頁・ 升田 純 著

暴行、いじめ、強姦、性的嫌がらせ、原付自転車の運転、自動車の運転、失火・放火、キャッチボール、ナイフ・包丁、空気銃・エアーガンなど子による加害行為のほか、線路への立入りによる高齢の親の加害行為に対する家族の責任をめぐる判例も掲載！　家族像が大きく変容する現代社会における家族の不法行為等による紛争の予防や解決に取り組む法律実務家にとって至便！

**第1章　現代社会における家族像とリスクの概況**
**第2章　家族の責任をめぐる裁判例―昭和20年代～昭和30年代**
**第3章　家族の責任をめぐる裁判例―昭和40年代**
**第4章　家族の責任をめぐる裁判例―昭和50年代**
**第5章　家族の責任をめぐる裁判例―昭和60年代**
**第6章　家族の責任をめぐる裁判例―平成一桁年代**
**第7章　家族の責任をめぐる裁判例―平成10年代**
**第8章　家族の責任をめぐる裁判例―平成20年代**
**第9章　家族の責任をめぐる裁判例―平成30年代**
**第10章　家族の責任をめぐる裁判例―令和一桁年代**